

# 中村耳鼻咽喉科だより

＝予防接種で防げる病気①＝

VOL.24



感染症を知ろう！



日本では、毎年多くの子どもたちがワクチンで予防できる感染症に感染し後遺症に苦しんだり、命を落としたりしています。

予防のためのワクチンが開発されている感染症は、数が限られています。大切な子どもたちはもちろん自分自身の命を守るために、まずは感染症がどういうものなのか知りましょう。

## ○百日せき



最初は鼻水と軽いせき等の風邪のような症状から始まり、その後せきがひど

くなり顔を真っ赤にして途切れなくせき込むようになります。けいれん・脳症・肺炎等の重い合併症から命を落としてしまうこともあります。

### \*特徴

原因となるのは百日せき菌で、感染する力がとても強く、せきやくしゃみ、接触することで感染します。かかりやすい年齢は乳幼児期ですが、**思春期や大人の発症も増えています。**

### □主な症状

コンコンとせき込んだ後に、急に息を吸い込むために、「**シューシュー**」と特徴的な音が出ます。連続性・発作性のせきが長い間続きます。

熱はないことが多く、せき込んで吐いてしまうこともあります。また、赤ちゃん

はせきで呼吸ができずに唇が青くなったり（チアノーゼ）、けいれんが起ることがあります。

病気を予防するワクチン DPT-IPV 四種混合ワクチン

## ○麻疹



「はしか」とも呼ばれている感染力がとても強い、**予防接種を受けないと多くの人がかかる病気**です。熱・鼻水・せき・めやに・発疹が主な症状です。

### \*特徴

原因となる**麻疹ウイルス**が、せき・くしゃみ・接触で感染します。ときに肺炎・脳炎等の合併症を起こし、命を落としてしまう



こともあります。かかりやすい年齢は、乳幼児期後半から幼児期ですが、最近では高校生以上になってからかかることもあります。

### □主な症状

涙や目やにが多くなり、鼻水やせき等の風邪と似た症状が出て「口の中に」「コプリック斑」と呼ばれる白いブツブツができます。38℃以上の高い熱が数日続きますが、いったん下がります。しかし、すぐに顔や手足など体のあちこちに発疹が現れて、再び39℃以上の高い熱が数日続きます。子どもだけでなく、どの年齢でも重い症状になる可能性がある病気です。

📌病気を予防するワクチン

MR（麻疹風疹混合）ワ

クチン又は麻しんワクチン  
○風しん



体中に淡い発疹と発熱、首や耳の後ろのリンパ節が腫れることを主な症状とする感染症です。妊娠初期の女性がかかると、赤ちゃんが白内障や難聴等の症状を持つ先天性風しん症候群という病気を持って生まれる可能性があります。

### \*特徴

原因となる風しんウイルスがせきやくしゃみ、接触で感染します。うつる力は麻しんやみずぼうそうより弱いと言われています。5〜15歳に多かったのですが、2012年ごろより

ワクチンを接種してい

ない20〜40歳の男性を中心

に流行していて、妊娠や出産する年齢の女性へ感染が広まっています。

ときに、血小板けっしょうばん

減少性紫斑病や脳炎等の合併症を引き起こすこともあります。

### □主な症状

熱が出るのと一緒に全身に淡い発疹がでます。麻しんのように高い熱が続くことは少なく、微熱程度で終わることも多いです。発疹は、3日位で消えて治るので3日はしかとも言われています。

📌病気を予防するワクチン

MRワクチン又は風しんワクチン

☆予防接種で防げる病気②へ

